



地域資源である湧水と島原石で造られた湧水塚



整備段階行われた市民参加イベント



子供たちにより公園内に植えられる水生植物

DATA BOARD 28

- ①長崎県島原市新町1丁目127-1
- ②面積：3,688㎡
- ③島原鉄道島原駅から徒歩10分、長崎自動車道諫早ICから車で70分
- ④島原城、鯉の泳ぐ町ほか
- ⑤たそがれコンサート(中学生による吹奏楽)、野外映画上映会



28 中央公園



島原市は、豊かな湧水のあるまちとして知られており、「中央公園」は湧水を活用した公園として、観光名所である鯉の泳ぐまちと商店街を結び、島原第二小学校の跡地に整備された。

この公園の計画にあたっては、中央公園研究会により整備内容の検討を行い、全国に向けてアイデアとデザインを公募、選定された内容を中心に施設づくりが進められた。

整備にあたっては、広場を中心に湧水塚や水路が設けられ、園内には多彩な植栽が施されている。公園のメインとなっている湧水については、南と北に設けられた二つの湧水塚から水路に流され、湧水と親しみを持ってもらえるように、水遊びのできる場所や噴水、手押しポンプなど、多彩な活用方法をアレンジしている。

また、多くの人々に愛着を持ってもらう施設として育てていくために、工事段階において、玉砂利の敷設、水生植物の植栽等、市民が参加できるイベントが数多く開催された。

整備後は、市民の憩いの場、観光客の休息スポットなどに利用されているほか、湧水を利用した行事も開催されている。